

1

利用環境設定

PCdesk(WEB 版)を利用するパソコンの動作環境を確認し、利用環境を整えます。

1.1

PCdesk(WEB 版)の利用準備をする

PCdesk(WEB 版)を利用できるよう、ご利用の PC の環境を整えます。

PCdesk(WEB 版)を新規利用する場合 (WindowsOS)

動作環境を確認する

PCdesk(WEB 版)を利用するパソコンの動作環境を確認します。

 [「1.1.1 動作環境を確認する」](#)

署名用のプラグインを
インストールする

電子証明書を使用して署名するために必要なプラグインをパソコンにインストールします。

 [「1.1.2 署名用のプラグインをインストールする」](#)

「プラグイン」の説明は、以下の参照先の用語説明をご確認ください。

 [「13 【付録】用語説明」](#)

ポップアップの許可設定

PCdesk(WEB 版)のポップアップを許可する。

 [「1.1.3 ポップアップの許可設定」](#)

PCdesk(WEB 版)を新規利用する場合 (macOS)

動作環境を確認する

PCdesk(WEB 版)を利用するパソコンの動作環境を確認します。

 [「1.1.1 動作環境を確認する」](#)



署名用のプラグインを
インストールする

電子証明書を使用して署名するために必要なプラグインをパソコンにインストールします。

 [「1.1.2 署名用のプラグインをインストールする」](#)

ポップアップの許可設定

PCdesk(WEB 版)のポップアップを許可する。

 [「1.1.3 \(3\) ポップアップの許可設定」](#)

1.1.1 動作環境を確認する

PCdesk(WEB 版)を利用するパソコンの動作環境を確認します。



注意

- PCdesk(WEB 版)は、スマートフォンからは利用できません。

PCdesk(WEB 版)では、自宅やオフィスのパソコンからインターネットを介して、eLTAX の受付窓口であるポータルセンタと利用届出や申請・届出等の手続きを行います。

ご利用にあたっては、インターネットが利用できる環境が必要です。(高速回線を使用することを推奨します。)

PCdesk(WEB 版)のご利用においては、以下のオペレーティングシステム (OS) 及び Web ブラウザの環境を推奨します。

WindowsOS の動作環境

• ハードウェア

CPU	1GHz 以上
メモリ	4GB 以上
ハードディスクドライブ (HDD)	1GB 以上の空き領域
画像解像度	1,024×768 以上
画面表示色	65,536 色以上

• ソフトウェア

オペレーティングシステム (OS)	以下の OS を推奨しています。 なお、日本語対応版であることが必要です。 ・ Microsoft Windows 11
Web ブラウザ	以下のいずれかの Web ブラウザを推奨しています。 ・ Microsoft Edge ^{※1} ・ Google Chrome

(※1) Microsoft Edge については、2020 年 1 月 15 日以降に Microsoft 社が提供しているメジャーバージョンが 79 以降の Microsoft Edge を対象としています。2020 年 1 月 15 日より前に Microsoft 社が提供している Microsoft Edge ではご利用いただけませんのでご注意ください。

macOS の動作環境

• ハードウェア

CPU	1GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ハードディスクドライブ (HDD)	1GB 以上の空き領域
画像解像度	1,024×768 以上
画面表示色	65,536 色以上

• ソフトウェア

オペレーティングシステム (OS)	以下のいずれかの OS を推奨しています。 <ul style="list-style-type: none">• macOS 13• macOS 14• macOS 15
Web ブラウザ	Safari の最新バージョン ^{※1}

(※1) macOS を利用される場合は、利用可能な証明書が限られます。詳細は以下の参照先をご確認ください。

 [「基本編 準備マニュアル」](#)

1.1.2 署名用のプラグインをインストールする

電子証明書を使用して署名するためには、署名用のプラグインが必要です。インストールされていない場合は、署名用のプラグインをパソコンにインストールします。

使用している OS と Web ブラウザによりインストール方法が異なります。

- WindowsOS で Edge を使用する場合
- WindowsOS で Chrome を使用する場合
- macOS を使用する場合

(1) WindowsOS で Edge を使用する場合

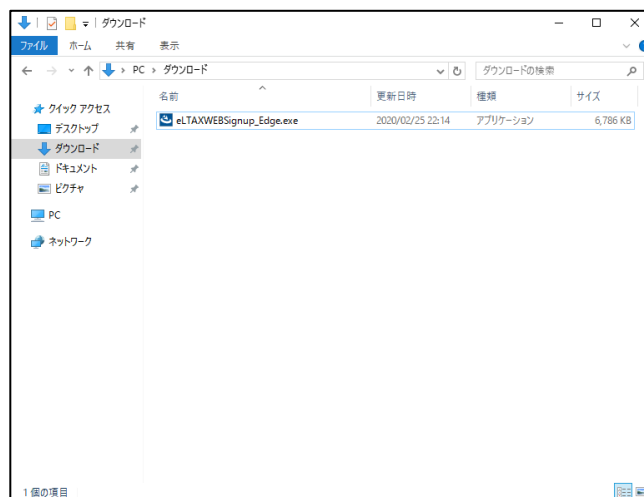
プラグインのインストーラ (eLTAXWEBSignup_Edge.exe) を準備する

電子証明書を使用するパソコンに、eLTAX ホームページの「署名用のプラグインをインストール」ページ (<https://www.eltax.lta.go.jp/eltax/junbi/syomei/>) から「eLTAXWEBSignup_Edge.exe」をダウンロードします。

任意のフォルダに「eLTAXWEBSignup_Edge.exe」を保存しておきます。

インストーラ (eLTAXWEBSignup_Edge.exe) を使用してプラグインをインストールする

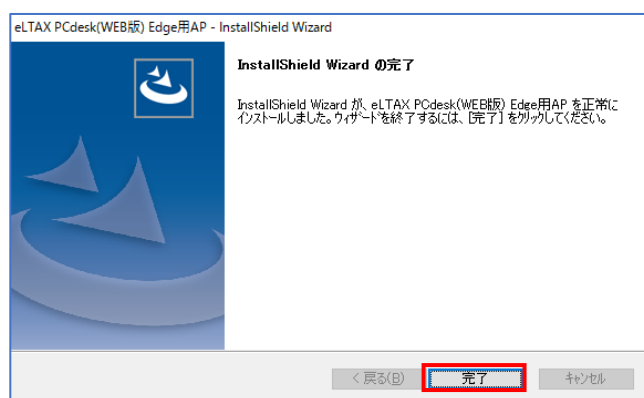
- 1 eLTAX ホームページの「署名用のプラグインをインストール」ページ (<https://www.eltax.lta.go.jp/eltax/junbi/syomei/>) からダウンロードしたプラグインのインストーラ「eLTAXWEBSignup_Edge.exe」をダブルクリックします。




- 2 プラグインのインストールを開始するため、「インストール」をクリックします。



- 3 インストールが正しく完了した旨のメッセージを確認し、「完了」をクリックします。




- 4 手順3で「完了」をクリックすると、右のようなウェブストアページが画面上に表示されます。Chromeの拡張機能をインストールするため、「Chromeに追加」をクリックします。

 ウェブストアページが表示されない場合

- 「Microsoft Edge」を開いて以下のURLにアクセスすることで、ウェブストアページを表示することが可能です。

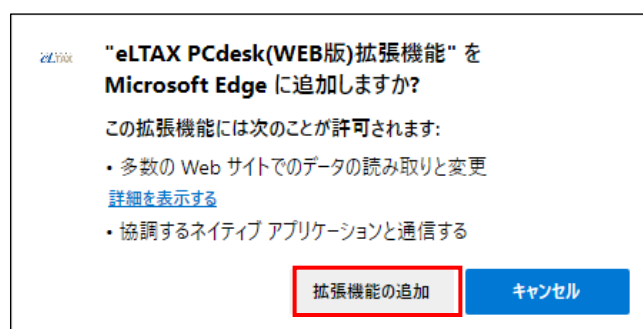
<https://chrome.google.com/webstore/detail/jcpgcikdpclefgececgaeofmhphopokn>

なお、手順3までの操作をすでに完了しており、拡張機能のみをインストールしたい場合にも、上記のURLから操作を行ってください。

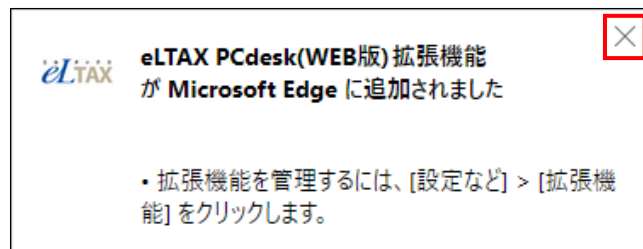
 ポイント

- 「バージョン」には、拡張機能のバージョンが「X.X.X.X」(Xは数字)と表示されます。ウェブストアページに表示されている拡張機能が最新のバージョンです。

- 5 右のようなダイアログが表示されたら、「拡張機能の追加」をクリックします。



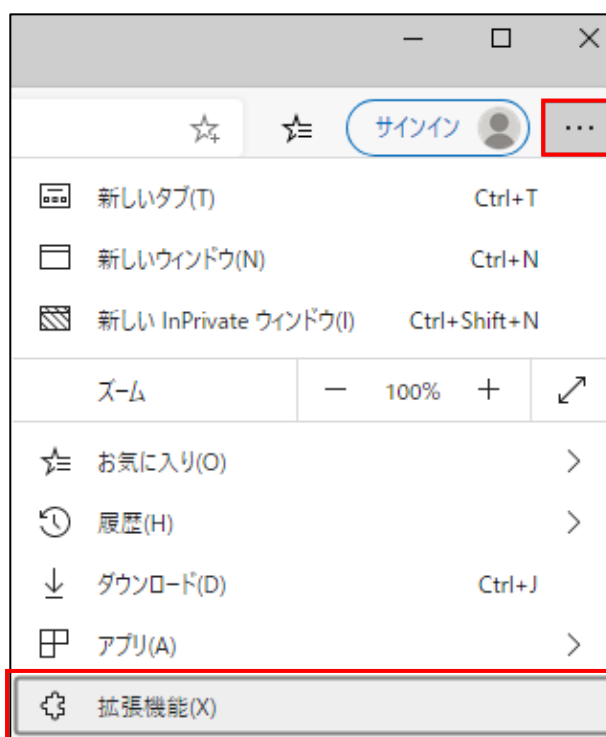
- 6 右のようなダイアログが表示されたら、「×」をクリックしてダイアログを閉じます。



- 7 ウェブストアページの表示が「Chrome に追加」から「Chrome から削除します」に変わっていることを確認します。



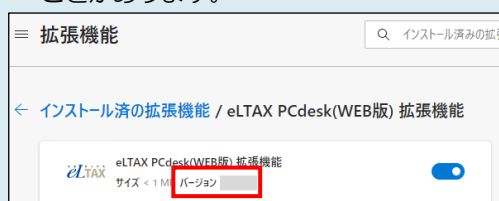
- 8 Edge の拡張機能がインストールされていることを確認するため、「…」→「拡張機能」をクリックします。



- 9 「拡張機能」欄に「eLTAX PCdesk(WEB 版) 拡張機能」が表示されていることを確認します。

バージョンの確認方法

- 「eLTAX PCdesk(WEB 版) 拡張機能」の「詳細」をクリックすると、インストールされている拡張機能のバージョンが「バージョン X.X.X.X」(X は数字) と表示されます。eLTAX ホームページからお問い合わせをする際に、バージョン情報が必要になることがあります。



10 右のように「インストール済の機能拡張」欄に「eLTAX PCdesk(WEB 版) Edge 用 AP」が表示されている場合は削除します。

「eLTAX PCdesk(WEB 版) Edge 用 AP」が表示されていない場合は、手順 **14** 以降を行ってください。



11 「eLTAX PCdesk(WEB 版) Edge 用 AP」の「削除」をクリックします。




12 右のような画面が表示されたら、「削除」をクリックします。



13 「インストール済の拡張機能」欄から「eLTAX PCdesk(WEB 版) Edge 用 AP」が消えていることを確認し、「x」をクリックします。



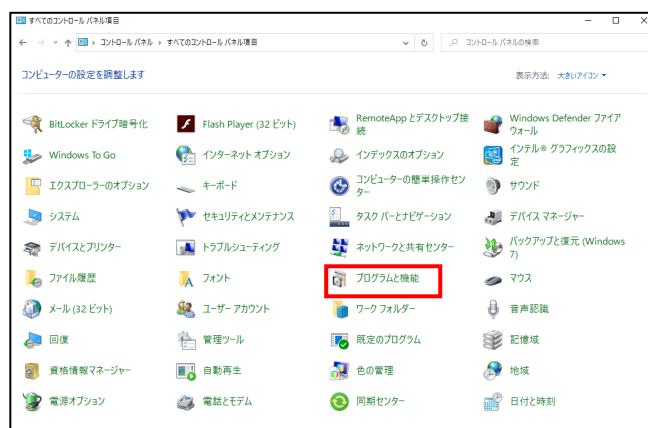
14 「」→「Windows システムツール」→「コントロールパネル」の順にクリックして、「コントロールパネル」を開きます。

15 署名用のプラグインがインストールされていることを確認するため、「プログラムと機能」をクリックします。



ポイント

- コントロールパネルの右上に表示される「表示方法」は、「大きいアイコン」を選択しておいてください。



16 プログラムのアンインストール又は変更を行う画面が表示されるので、一覧に「eLTAX PCdesk(WEB 版) Edge 用 AP」が表示されていることを確認します。



バージョンの確認方法

- 「バージョン」には、インストールされている署名用プラグインのバージョンが「X.X.X」(Xは数字)と表示されます。eLTAX ホームページからお問い合わせをする際に、バージョン情報が必要になることがあります。



(2) WindowsOS で Chrome を使用する場合

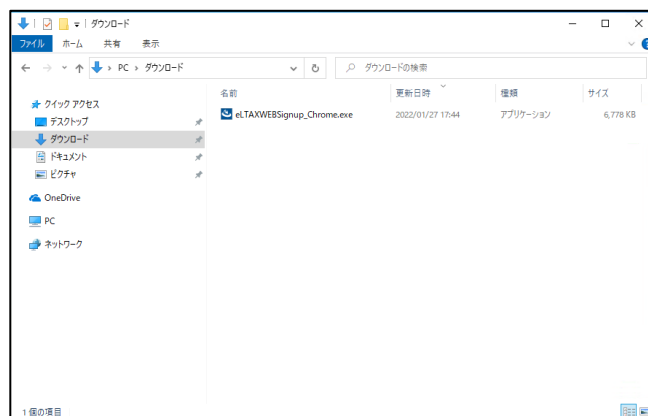
プラグインのインストーラ (eLTAXWEBSignup_Chrome.exe) を準備する

電子証明書を使用するパソコンに、eLTAX ホームページの「署名用のプラグインをインストール」ページ (<https://www.eltax.lta.go.jp/eltax/junbi/syomei/>) から「eLTAXWEBSignup_Chrome.exe」をダウンロードします。

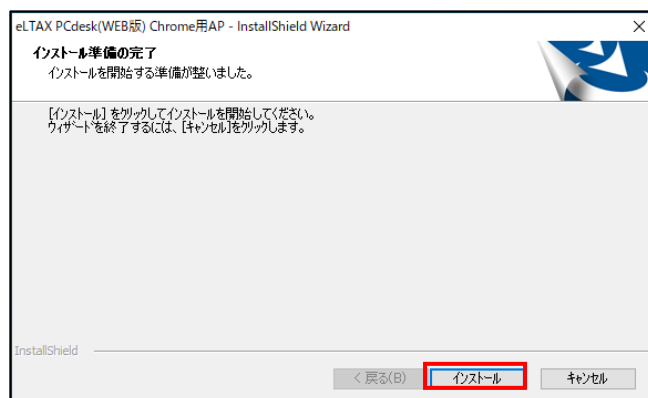
任意のフォルダに「eLTAXWEBSignup_Chrome.exe」を保存しておきます。

インストーラ (eLTAXWEBSignup_Chrome.exe) を使用してプラグインをインストールする

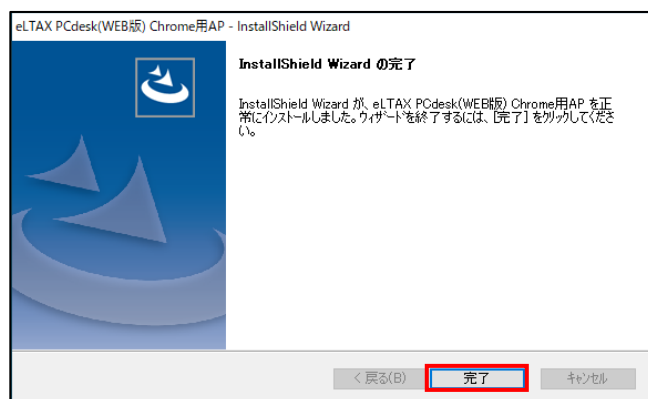
- 1 eLTAX ホームページの「署名用のプラグインをインストール」ページ (<https://www.eltax.lta.go.jp/eltax/junbi/syomei/>) からダウンロードしたプラグインのインストーラ「eLTAXWEBSignup_Chrome.exe」をダブルクリックします。




- 2 プラグインのインストールを開始するため、「インストール」をクリックします。



- 3 インストールが正しく完了した旨のメッセージを確認し、「完了」をクリックします。




- 4 手順3で「完了」をクリックすると、右のようなウェブストアページが画面上に表示されます。Chromeの拡張機能をインストールするため、「Chromeに追加」をクリックします。

 ウェブストアページが表示されない場合

- 「Google Chrome」を開いて以下のURLにアクセスすることで、ウェブストアページを表示することが可能です。

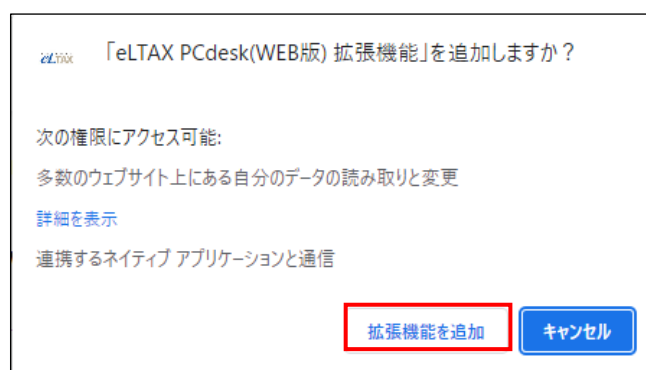
<https://chrome.google.com/webstore/detail/jcpgcikdpclefgececgaeofmhphopokn>

なお、手順3までの操作をすでに完了しており、拡張機能のみをインストールしたい場合にも、上記のURLから操作を行ってください。

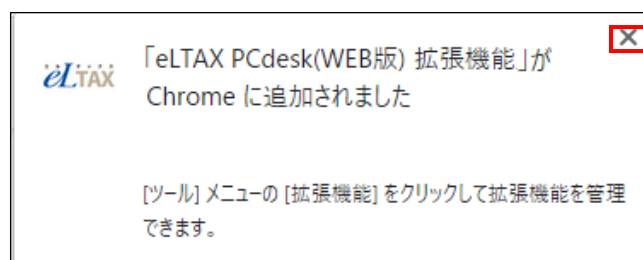
 ポイント

- 「バージョン」には、拡張機能のバージョンが「X.X.X.X」(Xは数字)と表示されます。ウェブストアページに表示されている拡張機能が最新のバージョンです。

- 5 右のようなダイアログが表示されたら、「拡張機能を追加」をクリックします。



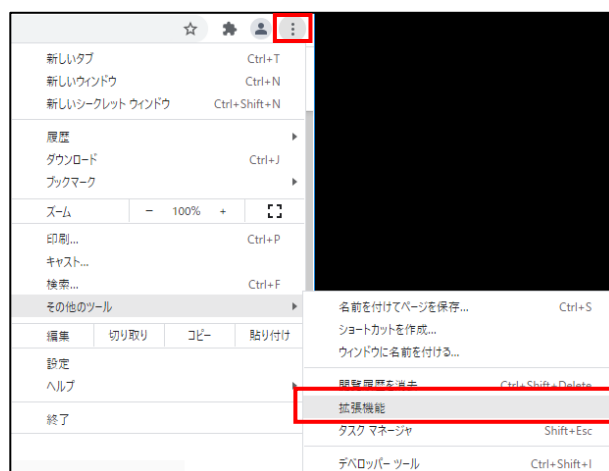
- 6 右のようなダイアログが表示されたら、「×」をクリックしてダイアログを閉じます。



- 7 ウェブストアページの表示が「Chromeに追加」から「Chromeから削除します」に変わっていることを確認します。



8 Chrome の拡張機能がインストールされていることを確認するため、「⋮」→「その他のツール」→「拡張機能」をクリックします。




9 「拡張機能」欄に「eLTAX PCdesk(WEB 版) 拡張機能」が表示されていることを確認し、「x」をクリックします。



バージョンの確認方法

- 「eLTAX PCdesk(WEB 版) 拡張機能」の「詳細」をクリックすると、インストールされている拡張機能のバージョンが「バージョン X.X.X.X.X」(X は数字) と表示されます。eLTAX ホームページからお問い合わせをする際に、バージョン情報が必要になることがあります。

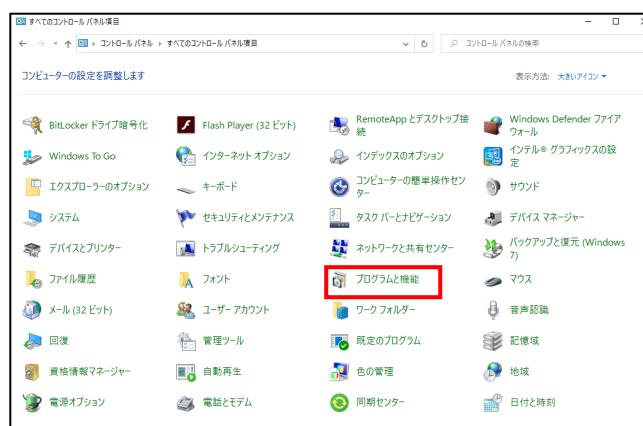


10 「」→「Windows システムツール」→「コントロールパネル」の順にクリックして、「コントロールパネル」を開きます。

11 署名用のプラグインがインストールされていることを確認するため、「プログラムと機能」をクリックします。

ポイント

- コントロールパネルの右上に表示される「表示方法」は、「大きいアイコン」を選択しておいてください。



12 プログラムのアンインストール又は変更を行う画面が表示されるので、一覧に「eLTAX PCdesk(WEB 版) Chrome 用 AP」が表示されていることを確認します。



バージョンの確認方法

- 「バージョン」には、インストールされている署名用プラグインのバージョンが「X.X.X」(X は数字)と表示されます。eLTAX ホームページからお問い合わせをする際に、バージョン情報が必要になることがあります。



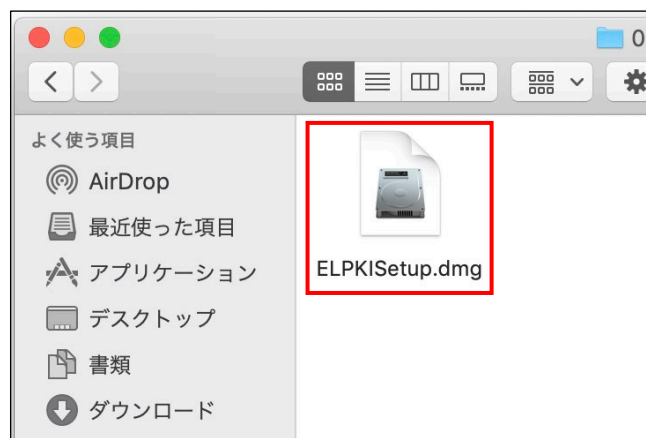
(3) macOS を使用する場合

プラグインのインストーラ（ELPKISetup.dmg）を準備する

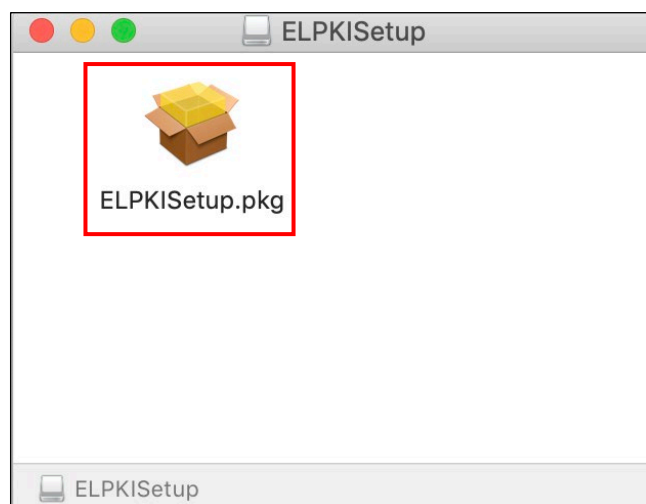
電子証明書を使用するパソコンに、eTAX ホームページの「署名用のプラグインをインストール」ページ（<https://www.eltax.lta.go.jp/eltax/junbi/syomei/>）から「ELPKISetup.dmg」をダウンロードします。任意のフォルダに「ELPKISetup.dmg」を保存しておきます。

インストーラ（ELPKISetup.dmg）を使用してプラグインをインストールする

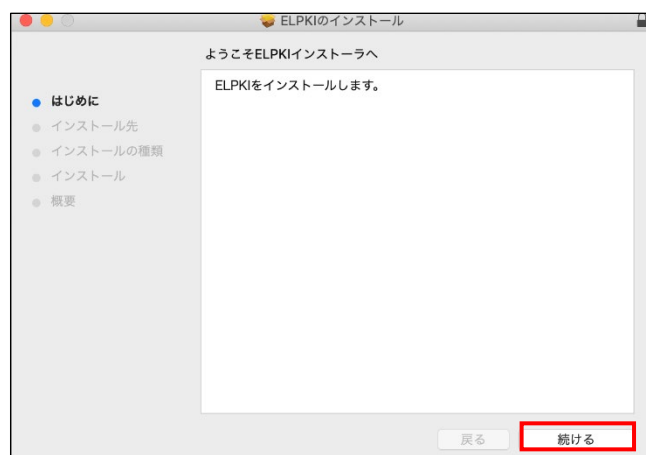
- 1 eTAX ホームページの「署名用のプラグインをインストール」ページ（<https://www.eltax.lta.go.jp/eltax/junbi/syomei/>）からダウンロードしたプラグインのインストーラ「ELPKISetup.dmg」をダブルクリックします。



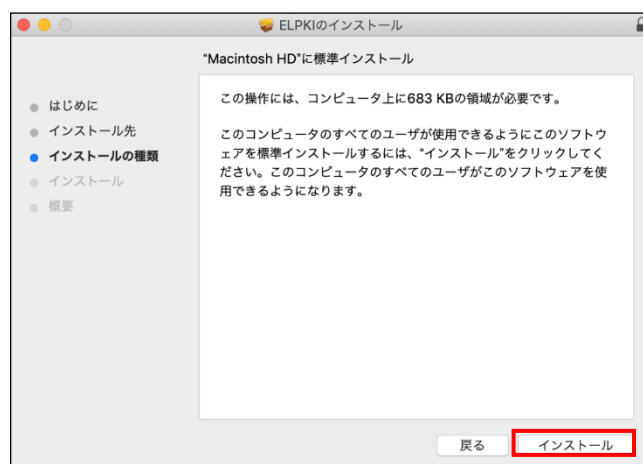
- 2 右のような画面が表示されたら、「ELPKISetup.pkg」をダブルクリックします。



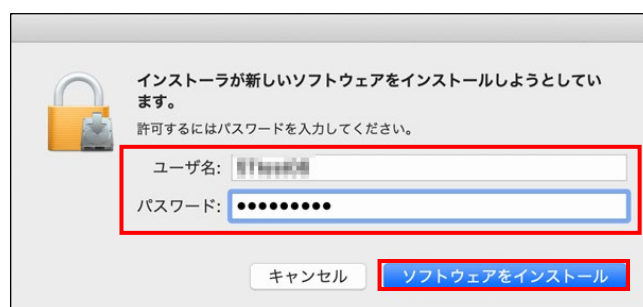
- 3 右のような画面が表示されたら、「続ける」をクリックします。



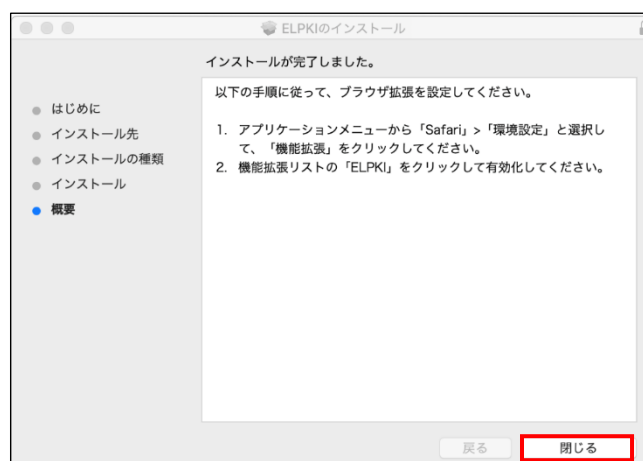
- 4 右のような画面が表示されたら、「インストール」をクリックします。



- 5 プラグインのインストールを開始するため、使用しているパソコンのユーザ名とパスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



- 6 インストールが正しく完了した旨のメッセージを確認し、「閉じる」をクリックします。

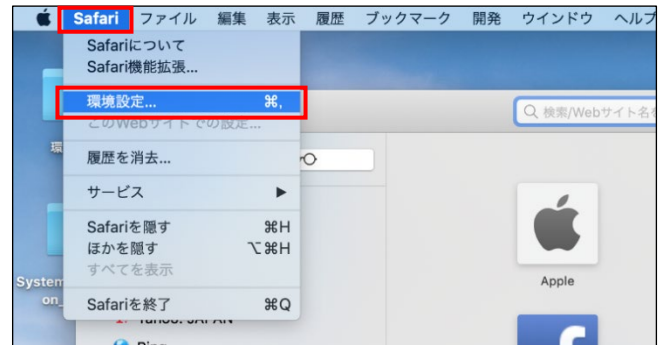


- 7 Finder ウィンドウの「アプリケーション」をクリックします。

- 8 「Safari」をクリックします。

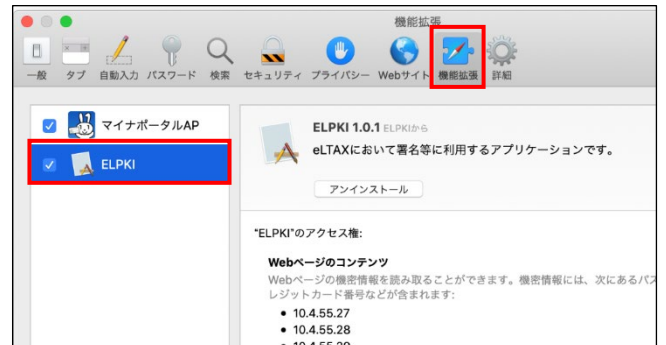


9 画面左上の「Safari」→「環境設定...」を順にクリックします。



10 「機能拡張」をクリックします。

11 「ELPKI」をクリックしてチェックマークを付けます。




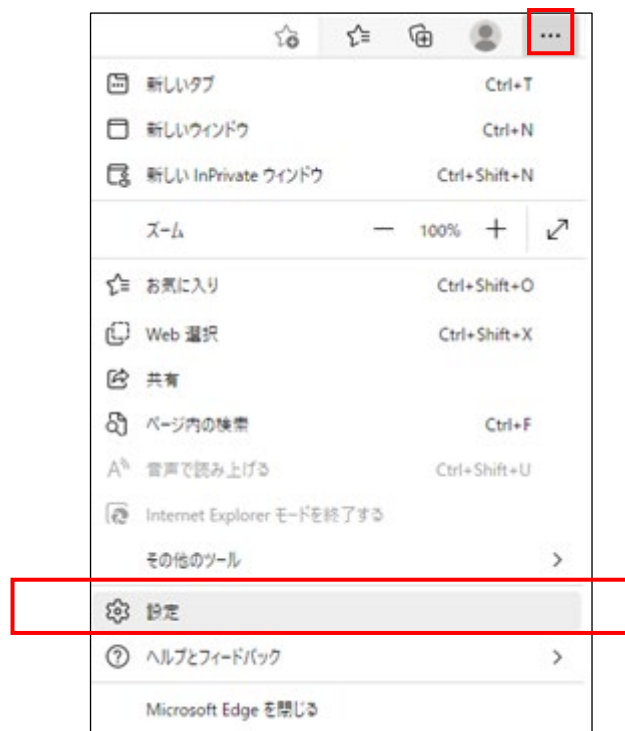
1.1.3 ポップアップの許可設定


PCdesk(WEB 版)から外部サイトの表示に必要なポップアップの許可設定を行います。

(1) WindowsOS で Microsoft Edge を使用する場合


1 Edge を起動します。

2 右上「…」→「 設定」の順にクリックします。



3 「 Cookie サイトのアクセス許可」をクリックします。



- 4 「サイトのアクセス許可」
→ 「 ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



- 5 サイトのアクセス許可／ポップアップとリダイレクトを開き「ブロック(推奨)」がオンであることを確認します。

- 6 許可の「追加」ボタンをクリックして URL を登録します。



- 7 ポップアップとリダイレクトのサイトに PCdesk(WEB 版)の URL を入力します。


「<https://www.portal.eltax.lta.go.jp>」

「追加」 ボタンをクリックします。



- 8 PCdesk の URL が表示されます。



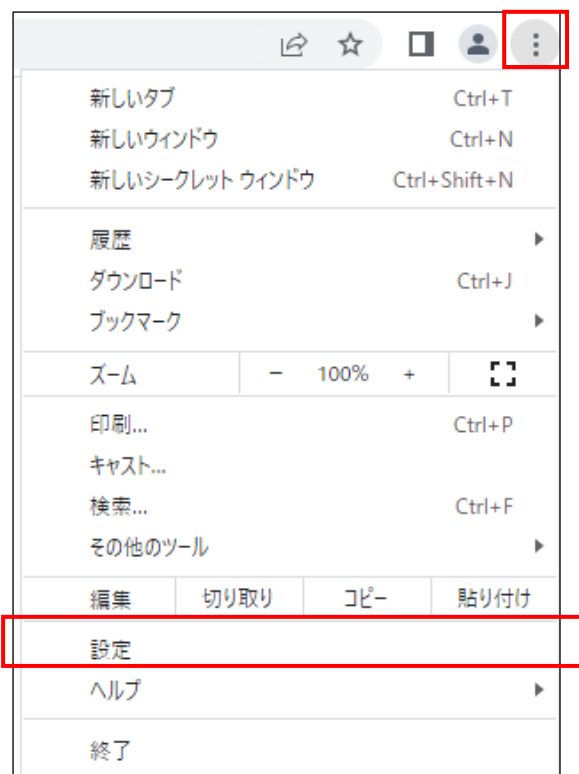
- 9 再度「設定」→「 Cookie とサイトのアクセス許可」を開くと「最近のアクティビティ」に先程登録した PCdesk(WEB 版)の URL が表示していることを確認します。



(2) WindowsOS で Chrome を使用する場合

1 Chrome を起動します。

2 右上「⋮」→「設定」の順にクリックします。



3 「プライバシーとセキュリティ」をクリックします。



4 「サイトの設定」をクリックします。



5 「ポップアップとリダイレクト」をクリックします。



- 6 動作のカスタマイズで「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」を登録します。「追加」ボタンをクリックします。

← ポップアップとリダイレクト

ポップアップを送信して広告を表示したり、リダイレクトを使ってユーザーがアクセスするつもりのないウェブサイトを表示したりするサイトもあります

デフォルトの動作
サイトにアクセスしたときにこの設定の動作を自動的に行います

☐ ☒ サイトがポップアップを送信したりリダイレクトを使用したりできるようにする

☒ ☐ サイトにポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しない

動作のカスタマイズ
次のサイトでは、デフォルトではなくカスタムの設定が使用されます

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト

追加

サイトが追加されていません

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト

追加

サイトが追加されていません

- 7 サイトに PCdesk(WEB 版)の URL を入力して「追加」をクリックします。
「https://www.portal.eltax.lta.go.jp」

サイトの追加

サイト

https://www.portal.eltax.lta.go.jp

キャンセル 追加

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト

- 8 PCdesk(WEB 版)の URL が登録されました。

動作のカスタマイズ
次のサイトでは、デフォルトではなくカスタムの設定が使用されます

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可しないサイト

追加

サイトが追加されていません

ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト

追加

https://www.portal.eltax.lta.go.jp

- 9 再度「⋮」→「設定」→「プライバシーとセキュリティ」→「サイトの設定」を表示して、最近のアクティビティに PCdesk(WEB 版)の URL が表示されていることを確認します。

← サイトの設定

最近のアクティビティ

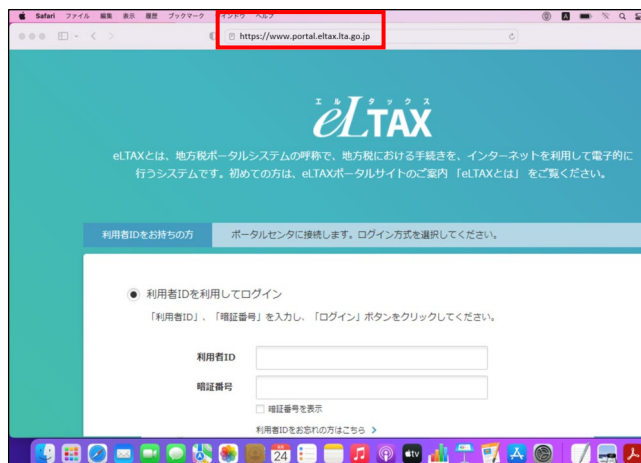
www.portal.eltax.lta.go.jp
ポップアップとリダイレクトを許可

すべてのサイトに保存されている権限とデータを表示

(3) macOS で Safari を使用する場合

Safari12 以降の場合

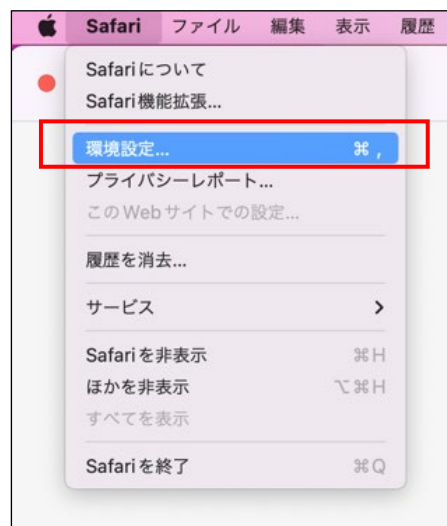
- 1 Safari を起動します。
- 2 PCdesk(WEB 版)以下 URL を入力します。
「<https://www.portal.eltax.lta.go.jp>」



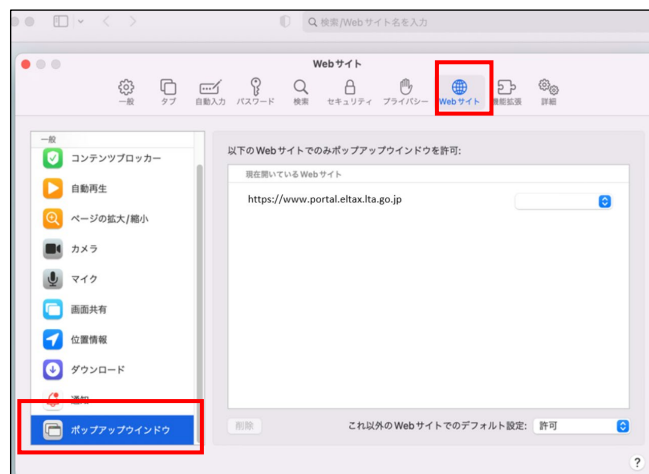
- 3 メニュー左上の「Safari」をクリックします。



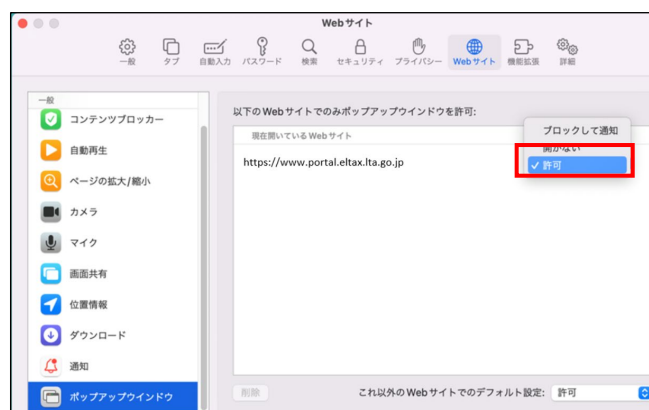
- 4 メニューの「Safari」→「環境設定」をクリックします。



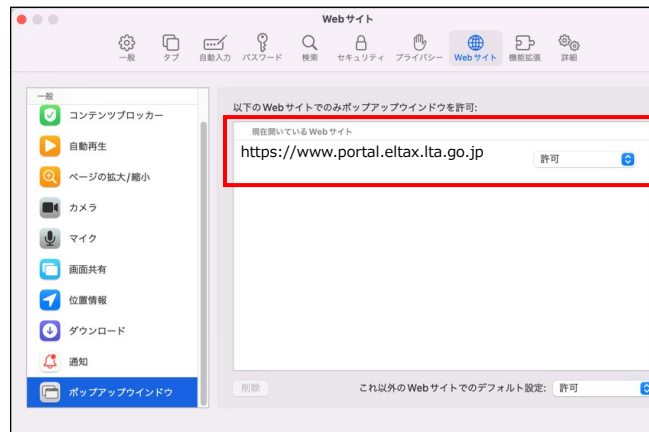
- 5 設定ウィンドウが表示されるので、「Web サイト」→「ポップアップウィンドウ」の順にクリックします。



- 6 「https://www.portal.eltax.lta.go.jp」 URL の表示を確認して、右上のプルダウンから「許可」選択します。

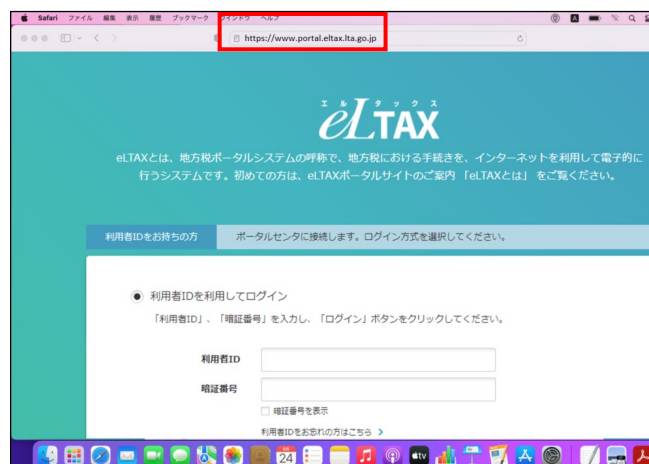


- 7 ポップアップウィンドウの許可サイトに PCdesk(WEB 版)の URL が登録されました。



Safari11 以前の場合

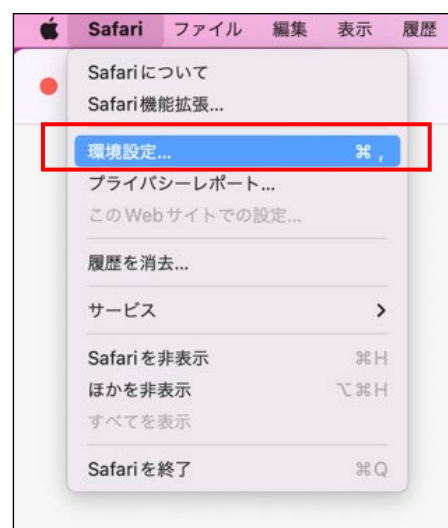
- 1 Safari を起動します。
- 2 PCdesk(WEB 版)以下 URL を入力します。
「https://www.portal.eltax.lta.go.jp」



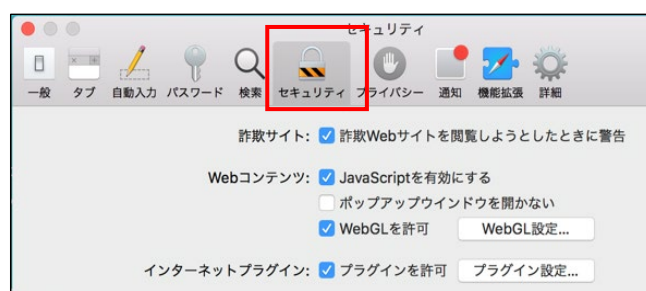
- 3 メニュー左上の「Safari」をクリックします。



- 4 メニューの「Safari」→「環境設定」をクリックします。



- 5 設定ウィンドウが表示されるので、「セキュリティ」をクリックします。



**6 「ポップアップウィンドウを開かない」
のチェックを外します。**

